

2023 AUTUMN !

茨城県立太田第一高等学校野球部 4

○ 令和5年度秋季県北地区一次予選・・・8月

8月22日、ひたちなか市民球場において秋季県北地区高校野球一次予選が行われました。太田一高は第1シードの明秀日立と対戦し、1-8で敗れ、県大会出場は二次予選に持ち越されました。

【2回戦】	太田一高	0	0	0	0	0	1	1
	明秀日立	1	1	4	2	0	×	8

(7回コールド)



今年の秋季大会より大会方法が変更となり、各地区予選は一次予選と二次予選を行うことで県大会出場校を決めることになりました。まず一次予選で4校の代表校を決定し、その4校を除いたチームから4校を決定する方式となりました。

太田一高は抽選の結果、一次予選の初戦の相手は明秀日立となりました。



強豪明秀に挑んだ太田一高でしたが、初回から点を奪われ、3回には3本の長短打で4失点。さらに4回に2失点で0-8。太田一高は7回に4本のヒットを放ち、鴨志田のレフト前タイムリーで1点を返しますが、2走加藤がホームを狙うも相手の好返球で生還ならず7回コールド。県大会出場権獲得は二次予選に持ち越されました。



太田一高 1-8 明秀日立

2023 AUTUMN !

茨城県立太田第一高等学校野球部 5

○ 令和5年度秋季県北地区二次予選・・・9月 シード佐和高・茨城高専を下し **県大会出場決定!**

9月10日、日立市民球場において県北地区二次予選が行われました。太田一高はAシード佐和高をコールドで破ったあと、9月12日、茨城高専との代表決定戦でもコールドで勝利し、県大会出場を決めました。

【2回戦】

佐和高校 0 0 0 0 0 0

太田一高 0 2 0 5 3 × 10

(5回コールド)

県大会出場を懸けてシード佐和高と対戦した太田一は、2回裏、先頭の平塚がレフト前で出塁すると、大金の犠打のあと照沼がライト線へタイムリー2塁打、さらに樫村がライト線を鋭く破るタイムリー3塁打を放ち2点先制。4回には、照沼レフト前、大津ライト線へ2塁打、茂又のライト前と3本の長短打で5点追加。7-0。

先発の大金は、安定したピッチングで佐和高打線を寄せ付けず、5回まで無四球、被安打も内野安打の1本と完璧に抑えました。



5回裏には、この日全打席ヒットの照沼がライト前で出塁すると大津、樫村が続き無死満塁。最後は鴨志田の走者一掃のレフトオーバーが飛び出し3得点で10点目。5回コールドで勝利しました。



太田一高 10-0 佐和高

2023 AUTUMN !

茨城県立太田第一高等学校野球部

6

○ 令和5年度秋季県北地区二次予選②・・・9月

秋季県大会 出場決定!

【代表決定戦】9/12

茨城高専	0	0	0	0	0	0
太田一高	4	3	4	0	×	11

(5回コールド)

シード佐和高にコールド勝ちした太田一は、茨城高専との代表決定戦でもその勢いのまま試合を支配しました。

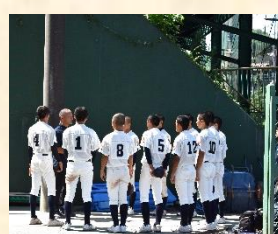
太田一は、初回、相手投手の5四死球と加藤のライトへの2点タイムリーなどで一挙4点を上げます。2回には、大津、茂又、平塚の連続長打で3点追加し7-0。



太田一に傾いた試合の流れは止まらず、3回にも相手投手陣の乱れに、大津、平塚が連続タイムリーを放ち4点追加で11-0。



投手陣も、先発の大金が3イニング、リリーフした大津が2イニングをそれぞれ無失点で抑え、2試合連続の5回コールド勝ちで県大会出場を決めました。



さあ県大会、目指せ BEST8 !

2023 AUTUMN !

茨城県立太田第一高等学校野球部 7

○ 第76回関東高校野球茨城県大会・・・9月

水戸工高に2-3惜敗!

9月21日、ひたちなか市民球場において、第76回関東高校野球茨城県大会が行われました。太田一高は2回戦で水戸工業と対戦し、2-3で惜敗しました。

【2回戦】9/21	水戸工業	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	太田一高	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

初回を無難に抑えたエース大金でしたが、2回に相手打線に捕まります。先頭にセンター前に、次打者にはライト前、犠打を決められ1死2。3塁。ここでレフト前にタイムリーを打たれ、スクイズも決められて2点を先制されます。



太田一高も3回、先頭の加藤がセンター前で出塁すると、樫村がきっちり送って得点圏に。ここで2番大津のセカンドへの内野安打の間に2走の加藤が好走塁で生還。1点を返します。水戸工は5回、先頭がライト線へ2塁打。犠打で3塁に送ると、ここで5番打者にレフトへのタイムリーが出て1点追加されます。3-1。



太田一高もその裏反撃、3回裏の攻撃が再現されます。先頭の加藤がこの日2本目のセンター前を放ち、樫村が送って、再び大津がセカンドへの内野安打。加藤が2塁から生還し2-3と追いつけます。しかし、反撃もここまで。相手投手を結局攻略できず、2-3のままゲームセット。残念ながら勝利を収められませんでした。水戸工業がこのあとベスト4まで勝ち進んだことを考えると何とも悔しい敗戦でした。

太田一高 2-3 水戸工高